



【2024年度発行】

福岡市グリーンボンド インパクトレポート

2025年11月



発行概要

福岡市は、脱炭素社会の実現に向け、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」のチャレンジを掲げ、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な取り組みを進めており、2021年度からその資金調達のひとつとしてグリーンボンドを活用しています。

福岡市では、今後も投資家の皆様のご支援をいただきながら、市民・事業者の皆様と一緒に、「カーボンニュートラルを実装した都市」の実現に向けた取組みを進めてまいります。

銘柄名	福岡市2024年度第6回公募公債 (グリーンボンド・5年)	福岡市2024年度第7回公募公債 (グリーンボンド・10年)
年限	5年（満期一括償還）	10年（満期一括償還）
発行額	30億円	70億円
利率	0.931%	1.295%
条件決定日		2025年1月22日
発行日		2025年1月31日
償還日	2030年1月31日	2035年1月31日
購入対象		機関投資家
充当事業	水害対策事業、市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入、地下鉄事業、水道事業 等	

【参考】グリーンボンド適合認証の概要

福岡市では、グリーンボンドの発行に際して、対象プロジェクトや資金管理の方法等について、「福岡市グリーンボンド・フレームワーク」を定めています。このフレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則2021」及び「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」に適合していることについて、第三者機関（株式会社格付投資情報センター（R&I））の認証を受けています。

	事業区分	対象プロジェクト
①	再生可能エネルギー	市有施設への再生可能エネルギー設備導入
②	省エネルギー	市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入
③	汚染の防止と管理	ごみ処理施設整備、下水道施設整備
④	自然資源・土地利用の持続可能な管理／生物多様性保全	公園整備
⑤	クリーンな輸送	地下鉄事業、電気自動車等及び充電・充てん設備導入
⑥	持続可能な水資源管理	水道事業
⑦	気候変動への適応	水害対策事業、道路整備 (緊急輸送道路整備や排水性・透水性舗装)
⑧	グリーンビルディング	市有施設の新築、改修

充当金額一覧

事業区分	対象 プロジェクト	充当金額 (百万円) ※十萬単位は四捨五入	事業概要	主な環境改善効果(※)
1 気候変動への適応	(1)水害対策事業	700	①雨水整備レインボープラン 天神	第2期事業実施(対象区域 180ha)
		400	②雨水整備Doプラン2026	地区数 17/33地区完了 (令和6年度事業量 5地区完了)
		1,869	③河川水路改良事業	周船寺川 外17河川 6池
	(2)道路整備 (緊急輸送道路整備や 排水性・透水性舗装)	491	④緊急輸送道路整備	国道3号線、桧原比恵線 外6路線
2 省エネルギー	市有施設への省 エネ性能の高い 機器等の導入	2,456	空調機器・照明設備機器、変圧 器等の導入	CO ₂ 抑制量 2,008 t-CO ₂ /年
3 クリーンな 輸送	(1)地下鉄事業	1,500	①地下鉄事業	CO ₂ 抑制量 約61.32 t-CO ₂ /年 (令和6年度3編成導入)
	(2)電気自動車等 及び充電・充てん 設備導入	91	②電気自動車等及び充電・ 充てん設備導入	CO ₂ 抑制量 17.4 t-CO ₂ /年 電気自動車導入20台数、充電設備35口

※「環境改善効果」は、令和6年度末時点において各事業の実施により得られた、または
得られると想定される環境への好影響のこと

充当金額一覧

	事業区分	対象 プロジェクト	充当金額 (百万円) ※十萬単位は四捨五入	事業概要	主な環境改善効果 (※)
4	グリーンビルディング	市有施設の新築、改修	1,125	省エネ性能の向上に向けた施設整備 (ZEB化)	BELS認証 (☆☆☆☆☆) ZEB Ready取得
5	持続可能な水資源管理	水道事業	1,000	配水管整備事業	約43.7kmの整備を実施 (水道事業全体) うち、耐震ネットワーク工事の実施約2.70km
6	自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性保全	公園整備	125	①緑地保全事業	保全面積 719 m ² CO ₂ 吸収量 0.3 t-CO ₂ /年
			24	②緑化推進事業	CO ₂ 吸収量 2.43 t-CO ₂ /年
			160	③港湾環境整備事業	対象区域 12.7ha
7	汚染の防止と管理	下水道施設整備	50	①公共下水道未整備区域の解消 ②合流式下水道の改善	①公共下水道未整備区域の解消 処理面積 約1 ha ②合流式下水道の改善 分流化面積 約1 ha
8	再生可能エネルギー	市有施設への再生可能エネルギー設備導入	9	太陽光発電設備新設	年間発電量 88,914 kWh
			10,000		

※「環境改善効果」は、令和6年度末時点において各事業の実施により得られた、または得られると想定される環境への好影響のこと

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について①

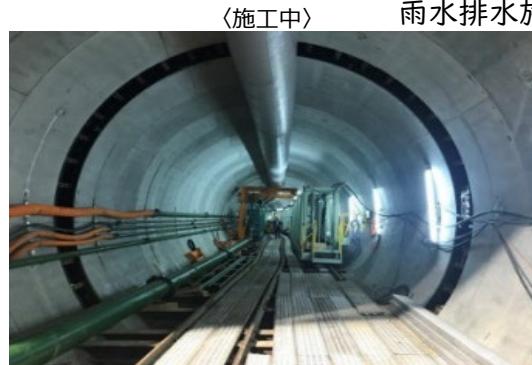
I 気候変動への適応

水害対策事業

事業概要

雨水排水施設整備（雨水整備レインボープラン天神）

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業（令和元年度～令和10年度）に基づき、引き続き、浸水対策に取り組みます。

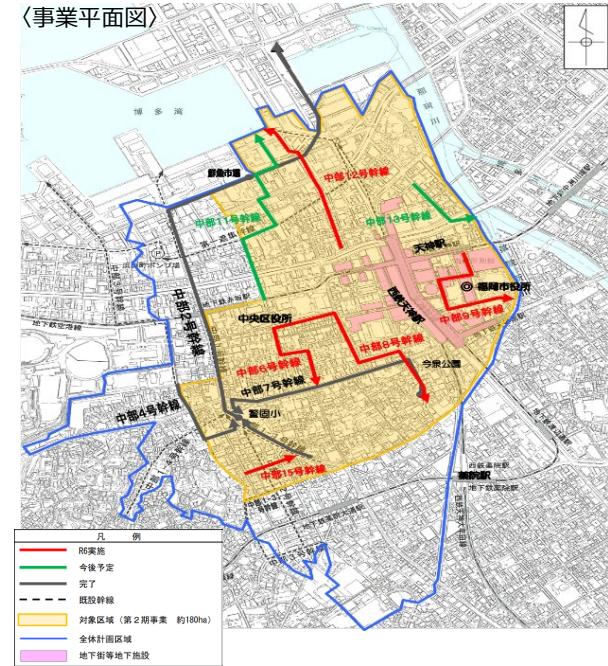


雨水排水施設の整備イメージ

（完成）



（事業平面図）



総合的な浸水対策

●雨水整備水準

〔時間雨量〕 59.1mm → 79.5mm

雨水整備水準 79.5mm／時間



※雨水整備にあたっては、時間雨量59.1mm(10年確率)に対応した施設整備を優先的に行い、平成11年6月29日の海南である時間雨量79.5mmを将来的な目標とします。

充当金額

700百万円

環境改善効果

令和6年度の主な整備施設

中部6号幹線（継続）、中部8号幹線（継続）
中部9号幹線（完了）外

第2期工事の進捗状況（下水道事業全体）

進捗率 63.7 %

（対象区域 約180ha、整備水準 59.1mm/時（10年確率））

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について②

| 気候変動への適応

水害対策事業

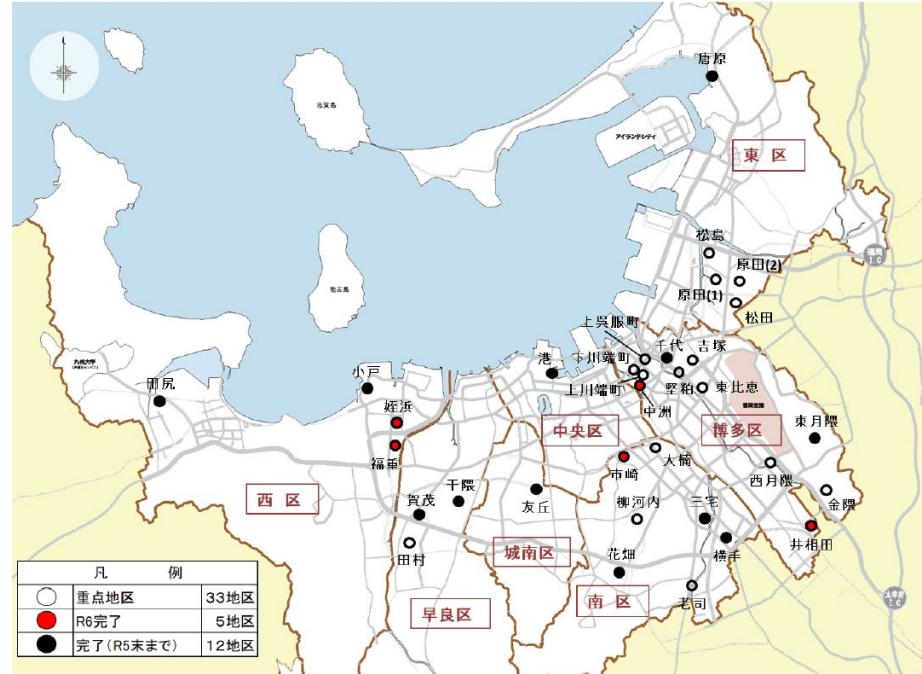
雨水排水施設整備（雨水整備Doプラン2026）

事業概要

平成元年度から平成30年度までの豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策を進めます。



〈重点地区の箇所図〉



| 充当金額

400百万円

環境改善効果 令和6年度事業量

- ・地区数 5 地区完了（井相田、中洲、市崎、姪浜、福重）

進捗状況（下水道事業全体）

· 地区数 17 地区完了/33地区

・整備水準 59.1 mm/時 (10年確率)

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について③

I 気候変動への適応

水害対策事業 河川水路改良事業

事業概要

河川拡幅や治水池整備等を実施し、浸水被害を軽減します。



充当金額

1,869百万円

環境改善効果

施工箇所名
周船寺川 外17河川 6池

道路整備

緊急輸送道路整備

事業概要

地震や台風などの災害時における円滑な人命救助や物資輸送路の確保を目的として、緊急輸送道路の整備に取り組みます。

〈整備事例：博多箱崎線〉



充当金額

491百万円

環境改善効果

施工工事の箇所名
国道3号線、桧原比恵線、西新通線、
清水千隈線、千代今宿線、外3路線

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について④

2 省エネルギー

市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入

事業概要

市有施設の空調機器・照明設備機器、変圧器等を省エネ性能の高いものへ改修します。

〈城南市民センター：舞台照明設備更新〉



〈市営住宅：LED照明〉



〈西花畠公民館：空調設備更新〉



〈臨海工場：エレベーター更新〉



省エネ機器に改修した市有施設

福岡市役所本庁舎
中央区役所交通局合同庁舎
南区役所
西区役所別館
城南市民センター
公民館・空港周辺共同利用会館（18館）
博多南地域交流センター
城南体育館
東体育館
早良市民プール
マリンメッセ福岡A館
市営住宅住棟（109棟）
臨海工場

外

充当金額

2,456.3百万円

環境改善効果

省エネ機器導入による

CO₂削減量（市有施設全体）：2,008 t-CO₂/年

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑤

3 クリーンな輸送

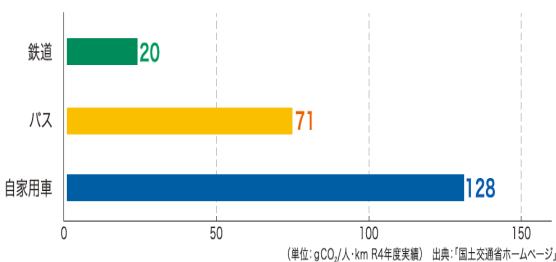
地下鉄事業

事業概要

運用開始から約40年経過した1000N系車両について、令和6年度より全18編成を更新します。

● 鉄道が排出するCO₂量

鉄道が1人を1km運ぶときの二酸化炭素の排出量は、バスの約3分の1、自家用車の約6分の1です。



◆ 4000系の特徴

- こども連れや車いすの方、大きい手荷物をお持ちの方が快適に利用できるフリースペースを設置！
- 新技術のモーターの導入で、使用電力量を約20%削減！
(営業列車としての本格導入は世界初！)



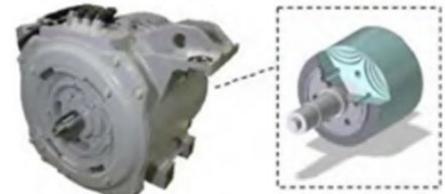
〈新型車両（4000系）外観〉



〈新型車両（4000系）内観〉

高効率モーターの採用

4000系車両では「同期リラクタンスマーター」の採用により、電力使用量を低減しています。



同期リラクタンスマーター

操舵台車

操舵台車の採用により、車輪やレールの摩耗低減、エネルギー消費の削減なども期待されます。また、引き続き防音車輪を採用したことにより、低騒音駆動装置を採用し、環境負荷低減に努めています。



充当金額

1,500百万円

環境改善効果

CO₂抑制量 年間約 61.32 t-CO₂/年 (令和6年度3編成導入)

令和6年度輸送人員の増加数 1491.5 万人 (対令和5年度)

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑥

3 クリーンな輸送

電気自動車等及び充電・充てん設備導入

事業概要

新規導入・更新する公用車について、各車両の利用用途を踏まえ、電気自動車の導入や充電施設の整備に取り組みます。



電気自動車・充電設備配置場所

中央区役所、城南区役所、港湾空港局、
南部療育センター 外

充当金額

91百万円

環境改善効果

電気自動車導入台数 20 台

充電設備設置数 35 口

CO₂削減量 17.4 t-CO₂/年

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑦

4 グリーンビルディング

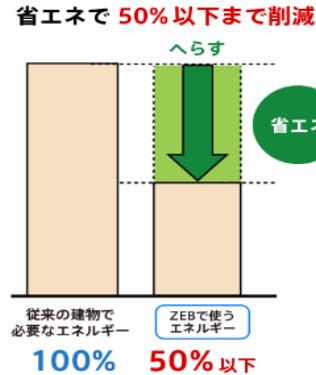
市有施設の新築、改修

事業概要

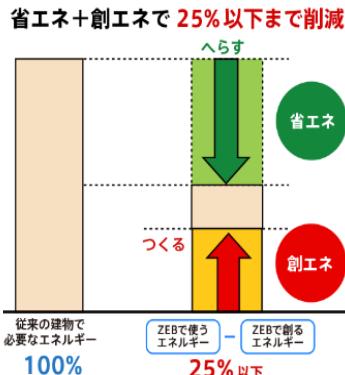
市有施設の新設及び改修において、省エネ性能の向上に向けた施設整備に取り組みます。（ZEB化）

ZEB の定量的な定義

ZEB Ready



Nearly ZEB



〈福岡市民ホール外観：ZEB Ready〉



ZEB Ready取得

城南区役所
南部療育センター
照葉はばたき公民館・老人
いこいの家
照葉北公民館・老人いこい
の家
福岡市民ホール
東消防署アイランドシティ
出張所（仮称）

Nearly ZEB取得

舞鶴小学校

充当金額

1,125百万円

環境改善効果

ZEB Ready取得、Nearly ZEB取得
BELS認証（☆☆☆☆☆）

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑧

5 持続可能な水資源管理

水道事業

事業概要

古くなった水道管の計画的な取替えや収容避難所など、水道局における重要給水施設のうち、平成19年度末で耐震化されていない施設の給水ルート（配水管）を優先的に耐震化していきます。

①配水管の更新



〈撤去：イメージ〉



〈布設：イメージ〉

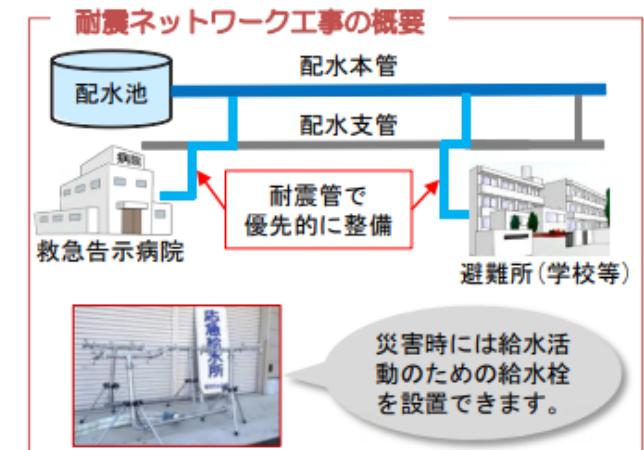
土壤や地下水の状況などの埋設環境に応じた適切な時期に更新できるよう、計画的に取り組んでいます。

特に、ポリエチレンスリーブ非装着管は、腐敗性が高い土壌においては、令和8年度までに更新を完了予定です。

なお、新設・更新時は、全て地震の揺れに強い「耐震管」を設置します。

②耐震ネットワーク工事

震災時でも水道水を届けられるよう、「福岡市防災計画」で指定された避難所や緊急告示病院など重要給水施設414施設のうち、平成19年度末で耐震化されていない256施設への給水ルート（配水管）を優先的に耐震化する工事を実施しています。



充当金額 1,000百万円

環境改善効果 整備距離 約 45.1 km (水道事業全体)
(うち、耐震ネットワーク工事 約 1.5 km)

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑨

6 自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性保全

公園整備

事業概要

①緑地保全事業

特別緑地保全地区の買入及び
整備による緑地保全

②緑化推進事業

公園樹木・街路樹の新植

③港湾環境整備事業

アイランドシティはばたき公園・
緑地の整備

①緑地保全事業

〈平和北特別緑地保全地区〉



②緑化推進事業

〈公園樹木の新植〉



〈街路樹の新植〉



③港湾環境整備事業

〈アイランドシティはばたき公園芝生広場〉



〈アイランドシティはばたき公園芝生広場〉



充当金額

①125百万円

②24百万円

③160百万円

環境改善効果

買入面積： 719 m²
CO₂吸収量： 0.3 t-CO₂/年

街路樹の新植（73本）による
CO₂吸収量： 2.43 t-CO₂/年

対象区域： 12.7 ha

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑩

7 汚染の防止と管理

下水道施設整備

事業概要

公共下水道の未整備区域の解消や浸水対策と連携した分流化の整備等により、公共用海域の水質保全を図ります。

①公共下水道未整備区域の解消事業

令和6年度末で下水道処理区域面積17,201ha、下水道処理人口約166万人、人口普及率99.7%となっておりますが、土地利用や地形等の問題で未普及、未水洗化となっている地区が一部残っていることから、これらの解消を進めています。



〈未整備区域の解消：布設イメージ〉

②合流式下水道の改善事業

〈合流式下水道の改善：分流化のイメージ〉



位置図



充当金額

50百万円

環境改善効果

①処理面積 約 | ha (下水道事業全体)

②分流化面積 約 | ha (下水道事業全体)

主な整備区域：天神周辺

令和6年度 グリーンボンドの資金使途について⑪

8 再生可能エネルギー

市有施設への再生可能エネルギー設備導入

事業概要

設備導入及び電力調達を組み合わせて、市有施設の使用電力を、原則再エネ由来電力に切り替えていきます。

〈春住小学校太陽光発電〉

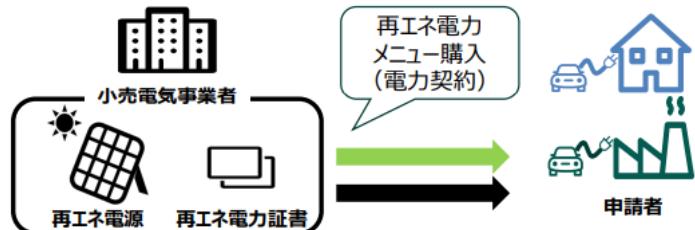


太陽光発電設備導入施設

春住小学校

再生可能エネルギーの利用促進（本市取組内容）

- ①太陽光発電設備の導入拡大
- ②再エネ由来電力の調達



電力契約において再エネ由来電力メニューを選択することで、電力の使用に伴う二酸化炭素排出をゼロにすることが可能です。

充当金額

8.7百万円

環境改善効果

年間発電量： 88,914 kWh

〈参考〉

福岡市の地球温暖化対策について

福岡市地球温暖化対策実行計画（第5次・令和4年8月改定）について

- 近年の豪雨や猛暑などの気象災害の激甚化や、パリ協定を契機とした国内外の潮流を踏まえ、脱炭素社会実現に向けた取組みを積極的に推進するため「福岡市地球温暖化対策実行計画」を策定

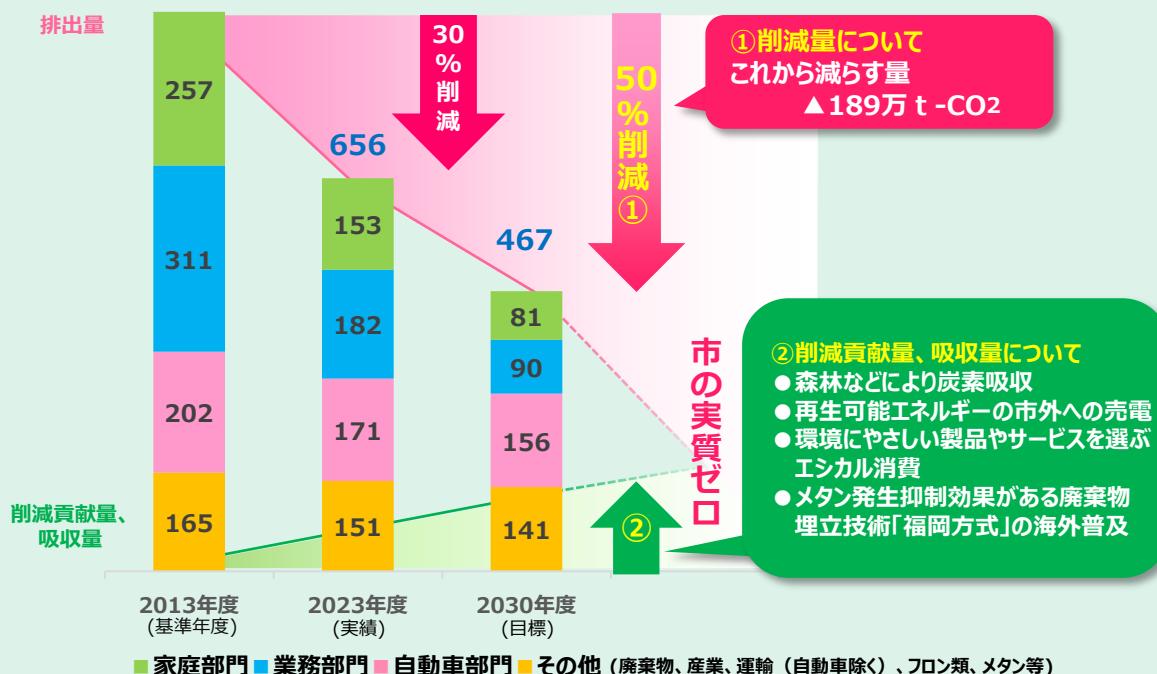
めざす姿 カーボンニュートラルを実装した都市を目指して
チャレンジ目標 2040年度 温室効果ガス排出量 実質ゼロ
2030年度目標

- 目標① 市域の温室効果ガス排出量：**50%削減**
目標② 市外への温室効果ガス削減貢献量、吸収量：**100万t-CO₂**

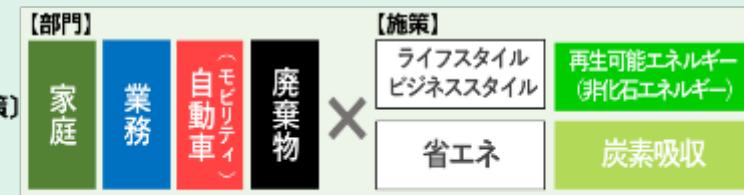
※基準年度：2013年度、計画期間：2022～2030年度

※対象とする温室効果ガス：地球温暖化対策推進法第2条第3項に規定されている7種類

(万t-CO₂) 935



取組みを進める対象



温暖化による影響の回避・低減

取組みの視点

- ◇ ライフスタイル、ビジネススタイルの転換
(エシカル消費、E S G指標、オンライン化など)
- ◇ 将来の世代を見据える
(環境教育・学習の推進など)
- ◇ 様々な主体とのパートナーシップ
(産学官・都市間連携、国際貢献、地域循環共生圏など)
- ◇ 新たなイノベーションの積極的な取り込み
(スタートアップ、技術導入の支援など)

主な施策の実施状況（令和7年度予算）①

家庭部門

★新規★拡充

住宅用エネルギー・システムの導入支援事業 3億1,320万円【環境局】

- ・住宅用エネルギー・システムの設置経費を補助

補助額（上限）

太陽光発電システム：2万円/kW（集合住宅60万円、戸建住宅10万円）

リチウムイオン蓄電システム：機器費の1/2(40万円)

V2Hシステム：機器費の1/2(20万円)

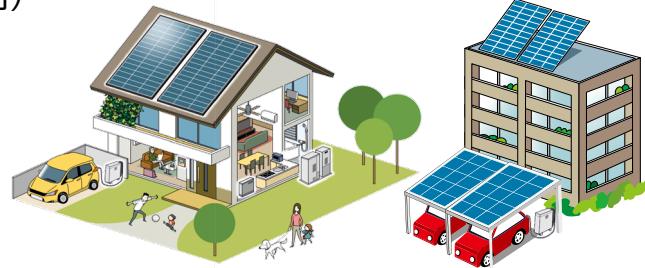
家庭用燃料電池：定額5万円

高効率給湯器（エコキュート）：定額2万円

補助枠

2億6,950万円

△CO₂
1,307
トン/年



☆ECOチャレンジ応援事業 1,974万円【環境局】

- ・市民の脱炭素行動に対してポイント（交通系ICカードポイント）を付与

△CO₂
480
トン/年

募集世帯

6,000世帯 拡充

ポイント付与数

年間上限5,000ポイント/世帯

都市圏との連携

R5:新宮町 ⇒ R6:5市町参画 ⇒ R7:10市町参画
(300世帯) (3,000世帯) (3,700世帯)

都市圏域の取組みへと規模拡大！



主な施策の実施状況（令和7年度予算）②

家庭部門

★新規★拡充

広報、啓発 1,889万円【環境局】

動画やSNSの活用

日常生活のなかで取り組める脱炭素行動、そのCO2削減効果や光熱費の節約額などを動画やSNS等でプッシュ型発信



ショートドラマ（動画）で脱炭素に取り組む主人公を面白く描き、脱炭素型ライフスタイルへの興味を惹かせる

褒められて脱炭素行動をやり過ぎる高校生

住宅の太陽光発電ポテンシャルの見える化

太陽光発電設備を自宅等に導入した場合の設置費用、想定発電量、電気代の節約額などを簡単にシミュレーションできるWEBページを運用



FUKUOKA CITY

地域の脱炭素型ライフスタイルサポート事業

○ 脱炭素ファシリテーター資格取得の支援

地域の環境人材を脱炭素ファシリテーターとして育成し、地域での活動を支援

○ 行動変容アプリの提供

脱炭素行動を行うことで、脱炭素を計測、可視化するなど、『簡単に』『楽しみながら』『継続できる』アプリ利用により脱炭素行動変容を後押し

脱炭素行動のCO2削減量を見る化



主な施策の実施状況（令和7年度予算）③

広報・啓発

市政だより同時印刷物の全戸配布（約90万世帯へ配布）

例年市政だより7月1日号で同時広報物を配布

③ 1世帯あたり449kg/年間のCO₂削減に向けて、「脱炭素」につながる行動を選択していこう！



① 住居 おうちでできる脱炭素



② 移動 お出かけの際に心がけることできる脱炭素



さあ、今日から! 脱炭素型 暮らし ライフスタイルへ!

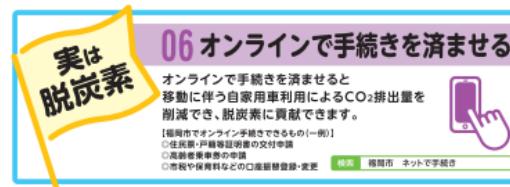
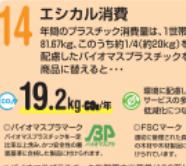
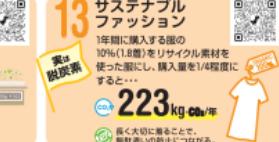
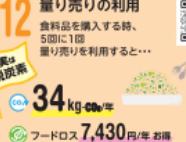
脱炭素型ライフスタイルは、
CO₂の削減と、
経済的で快適な生活につながります。



④ 暮らし 日々の暮らしの中でできる脱炭素



⑤ 買い物 お買い物の際に意識することでできる脱炭素



⑥ 量り売りの利用

量り売りで食料品を買うと、食べる分だけ購入できるので、
余りが出にくくフードロスを減らせます。
捨てる食料品が少なくなることで
CO₂排出削減につながり、
脱炭素に貢献できます。



⑦ サステナブルファッショントピック

私たちが店頭で手に取る一着一着の洋服、これら服の製造プロセスではCO₂が排出されます。今持っている服を長く大切に着たり、リユース(再利用)でファッショントピックを楽しむことを心掛けることで、「大量生産・大量消費・大量廃棄」から、「適量生産・適量購入・循環利用」となります。廃棄される衣服が少なくなることでCO₂排出削減につながり、脱炭素に貢献できます。

*衣服の生産から廃棄、廃棄に至るプロセスにおいて荷物にわざわざ荷物を運ぶことを指す。衣服を廃棄する際は、ごみ箱へ投げ入れる。

市役所も積極的に「脱炭素」につながる取り組みを進めています！

福岡市役所では、エネルギー使用による二酸化炭素排出量を2030年度で70%（2013年度比）削減するという目標を掲げています。目標達成のため、市有施設の省エネ化、再生可能エネルギー発電設備の導入、厅用車の脱ガソリン化、使用電力の再エネ化などに取り組んでおり、2023年度は55%削減することができました。



ご自宅に太陽光発電を導入した場合の効果を確認してみませんか？

ご自宅の住所を入力するだけで、太陽光発電設備を設置した場合の設置費用、電気代の額などを、無料で簡単に試算できるWEBページを開設しました。太陽光発電導入のご検討時に、ぜひご活用ください。

検索 福岡市 太陽光発電導入シミュレーションサイト



←市政だより
R7.7.1号
同時印刷物

主な施策の実施状況（令和7年度予算）④

広報・啓発

SNSでの情報発信

- ・福岡市チャレンジ！脱炭素 インスタグラム（令和4年5月開設）
令和6年度：13投稿
- ・ふくおかサポート（令和5年3月末サービス開始）
トップ画面にバナー掲載



福岡市環境局HP（温暖化対策・エネルギー政策）

- ・各部門別での取組み（支援策）
- ・温暖化対策に関する現状と計画、方針
- ・チャレンジ！脱炭素社会 等掲載

出前講座

「環境・エネルギー対策推進員」による出前講座の実施

【テーマ】

- ・今、私たちの未来のためにできること～「脱炭素社会」の実現に向けて～
- ・育てよう！緑のカーテン

【受講団体】

公民館、校区環境活動委員会、小・中学校、大学、企業 等

環境教育副読本

- ・「わたしたちのまちの環境」市内全小学5年生に配布



環境教育副読本

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑤

業務部門

★新規☆拡充

★国産ペロブスカイト太陽電池の普及促進 2億3,700万円

■市有施設への率先導入

次世代型太陽電池（ペロブスカイト太陽電池等）率先導入事業 2億1,000万円

- ① 市有施設への率先的な設置（3か所程度を想定）を実施
(環境省が創設予定の補助金を活用予定)
- ② 市有施設を含む市内建築物に対する、ペロブスカイト太陽電池の導入ポテンシャル調査を実施



香椎浜小学校に設置しているペロブスカイト太陽電池

■福岡市独自の上乗せ補助

次世代太陽電池（ペロブスカイト太陽電池等）導入支援事業 2,700万円

- ①環境省が創設した補助金を活用して
ペロブスカイト太陽電池を設置しようとする事業者の方に、
自己負担分の半額（上限：1千万円）を補助



導入支援事業
(市ホームページ)

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑥

業務部門

★新規★拡充

金融機関と連携したカーボンニュートラル経営促進事業 476万円【環境局】

- ・CO₂排出削減を目的とした融資を受ける際にかかる融資手数料を補助

△CO₂
2,400
トン/年

補助対象者
市内の事業者

補助額（上限額）
融資手数料の1／2（30万円）

補助枠
450万円

事業所への再エネ・省エネ設備導入支援事業 7,858万円【環境局】

- ・事業所の太陽光発電設備及び省エネ設備の設置経費を補助

△CO₂
297
トン/年

再エネ設備導入支援事業

補助対象者
・PPA事業者
・市内の事業者

補助額（上限額）
5万円/kW(500万円)



補助枠
2,500万円



省エネ設備導入支援事業

補助対象者
市内の中小事業者等

補助額（上限額）
機器費の1／2
(300万円)

補助枠
4,000万円

省エネ設備補助申請は
補助枠に到達



事業所への省エネ支援事業 1,189万円【環境局】

- ・CO₂排出量の算定支援や、専門家派遣による省エネ最適化診断を実施

△CO₂
125
トン/年

対象者
市内の事業者

費用
無料

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑦

業務部門

★新規★拡充

脱炭素建築物誘導支援事業 5,500万円【環境局】

- ビルのZEB化、集合住宅のZEH-M化に係る設計費用を補助

△CO₂
6140
トン/年

補助申請数 45件
(令和7年10月末時点)

ゼロエネルギー・ビル

対象：オフィスビル 等



延べ面積：300m²以上2,000m²未満
補助額 150 万円
延べ面積：2,000m²以上
補助額 300 万円

ゼロエネルギー・マンション

対象：マンション 等



延べ面積：200m²以上2,000m²未満
補助額 60 万円
延べ面積：2,000m²以上
補助額 100 万円

再生可能エネルギー電気の利用促進 283万円

事業所の再生可能エネルギー電気の利用促進に向けて、
非化石証書の共同購入を実施

小売電気事業者からの電気
(現状の電力契約)



非化石証書



再エネ電力

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑧

5月2日 福岡市環境局 リリース

令和7年度「カーボンニュートラルパッケージ」スタート!!

過去最大の
補助規模！

1.市民向けメニュー

- ECOチャレンジ応援事業
- 住宅用エネルギー・システム導入支援事業
- 電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助
- 充電設備設置補助

2.事業者向けメニュー

- 事業所の省エネ支援事業
- 事業所の省エネ・再エネ設備導入支援事業
- 燃料電池自動車の購入補助
- 充電設備設置補助
- 金融機関と連携したカーボンニュートラル経営促進事業
- 脱炭素建築物誘導支援事業
- 事業所の再生可能エネルギー電気の利用促進
- ペロブスカイト太陽電池導入支援事業

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑨

業務部門

★新規★拡充

★カーボンニュートラル貢献企業販路拡大支援 947万円【経済観光文化局】

- ・脱炭素に資する環境ラベル等を取得している事業者の販路拡大を支援



<展示会出展支援>

対象

貢献企業の基準にあてはまる市内中小企業

- ・GHG排出量削減に貢献する環境ラベルの取得
- ・SBT（中小企業版含む）など



<成果報告会にて事例共有>

主な事業内容

○ 販路拡大支援

- ・展示会への出展支援
- ・ビジネスマッチングの実施 など

○ 優良事例の共有

- ・成果報告会の開催
- ・事例集の作成

市営住宅の整備における脱炭素へ向けた取り組み 6,352万円【住宅都市局】

- ・ZEH水準への省エネ化、太陽光パネルの試行設置

★EVカーシェア事業の試行実施

- ・R7年度に共用廊下等のLED化率100%達成

ZEH水準への省エネ化

断熱性能や省エネ等級の向上を図り、令和6年度以降に着手する新築工事から
全ての住棟をZEH水準への省エネ化



<弥永住宅集会所に試行設置された太陽光パネル>

太陽光パネルの試行設置・EVカーシェアの試行実施

令和6年度に着手した新築工事の敷地内への太陽光発電設備の試行設置と合わせ、
余剰電力を活用したEVカーシェア事業をモデル的に実施

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑩

博多港脱炭素化推進事業（カーボンニュートラルポート形成推進） 3億4,820万円

【港湾空港局】

★新規★拡充

- ・臨港道路等における照明のLED化
- ★博多港ベイサイドミュージアムにおける放射冷却塗料※¹の実証
- ★市営渡船における省エネ改良（高効率プロペラ※²や低摩擦船底塗料※³の導入）
- ☆清掃船におけるバイオ燃料※⁴の本格導入
- ・博多港カーボンニュートラルポート形成推進協議会の開催 など



放射冷却塗料の実証
(ベイサイドミュージアム)



バイオ燃料の本格導入
(清掃船)

※¹放射冷却塗料

太陽光の熱を遮断・放射する特殊な塗料を使用することで、空調の負荷を低減し、電力消費量を削減。

※²高効率プロペラ

従来の金属製プロペラに比べ軽量なカーボンプロペラを採用することで、エンジンの負荷を低減し、燃費を向上

※³低摩擦船底塗料

従来の塗料より塗膜表面が滑らかな塗料を船底に採用することで、航行時の水流摩擦抵抗を低減し、燃費を向上。

※⁴バイオ燃料

バイオマス(生物資源)を原料とする燃料ことで、化石燃料を代替するカーボンニュートラルな燃料として利用拡大が期待されている。

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑪

自動車（モビリティ）部門

★新規★拡充

☆次世代自動車の普及に向けた取組み 9,298万円【環境局】

- 電気自動車等の購入補助

補助額		
EV 10万円 (電気自動車)	PHEV 5万円 (プラグインハイブリッド自動車)	FCV 60万円 (燃料電池自動車)
自家の再エネ電気で充電するEVは5万円加算		
補助枠		



補助枠

6,400万円

- 充電設備設置補助

補助対象設備	補助額（上限額）	補助枠
公共用急速充電	100万円/基	550万円
集合住宅向け普通充電	100万円/施設（1基20万円）	1,250万円
中小企業向け充電	急速：100万円/基 普通：100万円/事業所（1基20万円）	510万円

新規 再エネ電気で充電する場合は最大10万円加算

△CO₂
529
トン/年



市有施設への急速充電設備設置 4,629万円【環境局】

- 新たに2か所新設予定
⇒ 市有施設等で計14か所に



城南区役所別館（令和6年度設置）

☆バイオ燃料活用実証事業 601万円【環境局】

- バイオ燃料の利用推進のため
貨物車や重機・農機などでの
実証事業を実施
- 本実証事業のPR等の実施
(実証中の車両へステッカーを貼付等)



R7バイオ燃料使用予定車両



ユニック車



重機（ドラグショベル）



農機（トラクター）など

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑫

自動車（モビリティ）部門

★新規★拡充

カーシェアリングの推進 440万円【環境局】

●市有施設で再エネ100%電気によるEVカーシェアリングを実施中（R5.9～）

実施場所：西部地域交流センター「さいとぴあ」（西区西都2-1-1）内

事業内容：電気自動車2台（日産サクラ・リーフ）によるカーシェアリング



★市営住宅でのEVカーシェア事業の試行実施（R8.2～予定）

★カーシェアの認知度の向上、利用促進を図るための広報啓発事業（R6～）

広報ツール（予定）：ショート動画（LINE、Facebook、インスタ、X等）、シニア向けイベント など

参考 R6事業

対象：20代前半
〔これから車の購入
を検討する層〕



グルメ・観光を切り口にした
ショート動画でカーシェアのPR

対象：50～60代
ライフスタイルの
変化があり車の購入
(買替) を検討する層



アラカンフェスタで実車を
使用したカーシェア利用体験

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑬

自動車（モビリティ）部門

★新規★拡充

地下鉄初！！

地下鉄用電力への再エネ電気の導入 21億8,692万円（1億3,597万円※）【交通局】

☆R7.4～ 地下鉄で使用する電力を100%再エネ電気に切替

※括弧内は電力料金のうち再エネ指定に要する費用



駅照明等のLED化 3億8,608万円【交通局】

駅照明・トンネル内照明・電照広告のLED化

駐輪場の整備 2億1,222万円【道路下水道局】

＜令和7年度の主な供用箇所＞ 地下鉄七隈線 橋本駅 駐輪台数：895台



自転車通行空間の整備 5億4,545万円【道路下水道局】

＜令和7年度の主な供用箇所＞

★県道浜新建堅粕線（妙見通り）、国道385号外1路線（日赤通り）、
主要地方道志賀島和白線（海の中道）

福岡シェアサイクル事業 【道路下水道局】

シェアサイクルポート数：806か所（令和6年度末時点）

自転車通行空間の整備例

DX（電子申請等）の推進 【総務企画局、市民局、区役所ほか全庁】

- ・申請結果通知等のデジタル化の本格実施
- ・区役所から遠い公民館等におけるリモート窓口の機能強化
- ・コンビニエンスストア等における証明書自動交付

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑭

廃棄物部門

★新規★拡充

プラスチック分別収集導入に向けた取組み 5,820万円【環境局】

- 令和9年2月からのプラスチック分別収集導入に向け、収集運搬やリサイクル体制の構築に取り組むとともに、様々な媒体を活用した効果的な広報啓発を実施



ボトルtoボトルリサイクルの試行実施【環境局】

- 市が回収した全ての使用済みペットボトルを対象に、ボトルtoボトルリサイクルを実施
- 令和7年度も最適なリサイクル手法を検証するため、半量ずつケミカルリサイクル・マテリアルリサイクルを実施



★地域や回収事業者と連携した古紙の出しやすい環境づくり 950万円【環境局】

- 古紙の出しやすい環境づくりのため、回収事業者が管理する新たな紙リサイクルボックスを設置し、回収拠点を増設
5か所増設 ⇒ 計437か所に
- 地域集団回収における担い手不足などへの対応のため、回収事業者と連携した、古紙回収の仕組みづくりに取り組む



☆雑がみリサイクルの推進 765万円【環境局】

- 雑がみリサイクルの認知度向上のため、雑がみの種類や出し方について印刷したトイレットペーパーや回収促進袋など、様々な媒体を活用した広報啓発を実施

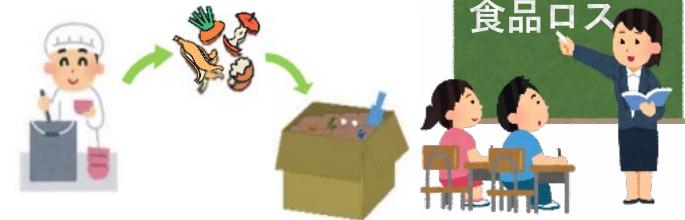
主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑯

廃棄物部門

★新規★拡充

☆小学校における食の資源循環推進 483万円【環境局】

- ・小学校において食品ロスの削減や生ごみの堆肥化等に取り組み、子どもたちが食の資源循環を学び実践する機会を創出
6校実施（継続4校、新規2校）



☆事業所から出る生ごみの資源化推進 7,575万円【環境局】

- ・食品廃棄物の資源化（飼料化・堆肥化・メタン化）に取り組む事業者を支援



☆生ごみ堆肥を活用したコミュニティガーデンの開設支援 1,198万円【環境局】

- ・事業者による生ごみの堆肥化を推進するため、コミュニティガーデンの開設を支援
6事業者開設支援 ⇒ 計9事業者に



☆家庭系廃食用油の回収と再資源化促進 291万円【環境局】

- ・スーパー・マーケット等における家庭系廃食用油回収拠点を増設し、バイオディーゼル燃料にリサイクル（23か所増設 ⇒ 計27か所に）



主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑯

再生可能エネルギー等施策

★新規★拡充

水素リーダー都市プロジェクト

☆まちづくりへの水素実装 8億2,309万円【経済観光文化局】

- 九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素ステーションの用地取得や、水素供給パイプラインを整備するとともに、事業者公募等を実施

FCモビリティの導入促進 1億5,157万円【経済観光文化局、環境局、消防局】

- Moving eやFC給食配送車を活用した水素の普及啓発、FCごみ収集車の導入、FC救急車の実証等

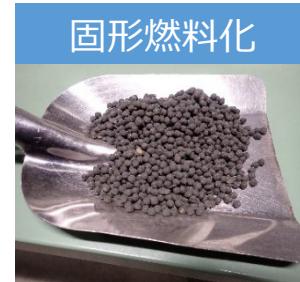


☆福岡市水素ステーションの運営 1億7,339万円【経済観光文化局】

- 水素ステーションの運営及び設備改修、九州大学箱崎キャンパス跡地における水素ステーションへの出荷に向けた検討等を実施

下水汚泥固形燃料化施設【道路下水道局】

- 下水汚泥有効利用量
33,721 t (令和6年度実績)



主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑯

再生可能エネルギー等施策

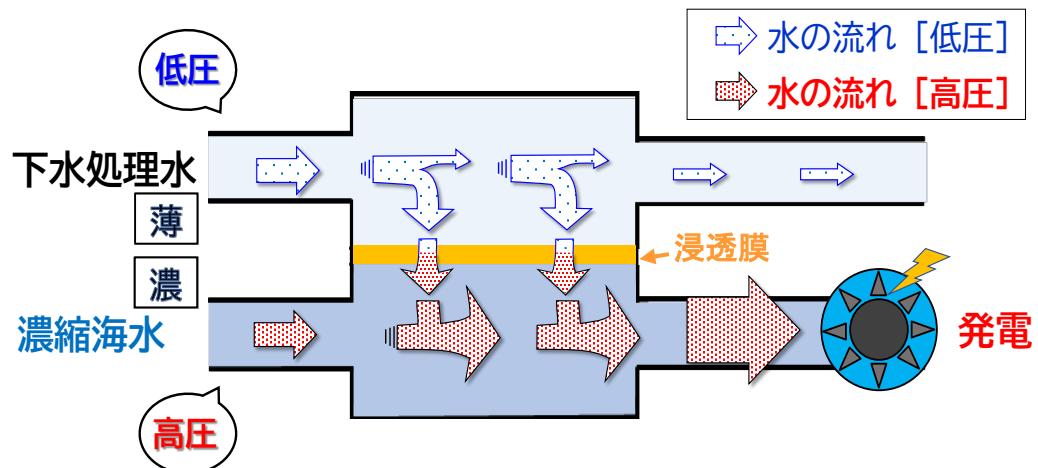
日本初！！

★浸透圧発電の実用化【福岡地区水道企業団、道路下水道局】

- 未利用資源（排水）を活用したクリーンな発電

「浸透圧」という、自然現象により発電

（浸透圧…同じ塩分濃度になるように、薄い方から濃い方に水が移動する力）



<発電システムの概略>

下水処理水（和白水処理センター）と
濃縮海水（まみずピア）、二つの排水を活用

- ① 下水処理水と濃縮海水を「浸透膜」で隔てると、「浸透圧」が発生し、塩分濃度の薄い方から濃い方へ水が移動する。
- ② 移動した水の力で水車を回して発電する。

年間発電量は**88万kWh**を見込み、福岡市内 約**290世帯** の年間使用量に相当

実施体制

福岡地区水道企業団

濃縮海水と実証場所の提供

協和機電工業(株)

発電システムの設置、運転

福岡市道路下水道局

下水処理水の提供

主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑯

炭素吸収施策

★新規★拡充

☆花粉発生源対策関連事業 1億6820万円【農林水産局】



- ・花粉発生源であるスギ・ヒノキ人工林について、広葉樹への植替え等の実施
- ・私有林の植替えを促進するため、林業機械レンタル・リース経費等の支援

地域産材利用促進事業 1億200万円【農林水産局】



- ・身近で豊富な森林資源を"伐って、使って、植えて、育てる"サイクルを回すため、関係者と連携し、様々な施設に木材を活用

照葉北公民館・老人いこいの家 市産材を活用した木質化【市民局、福祉局】



照葉北公民館・老人いこいの家(イメージ)

水源かん養林の整備 6,036万円【水道局】

- ・水源かん養林のスギ・ヒノキの主伐、広葉樹苗木の植樹 5ha、水源かん養林の伐竹や下草刈り等 28ha
- ★「福岡市水道水源かん養林整備計画」の改定

☆都心の森1万本プロジェクト 12億2,672万円【住宅都市みどり局】

★公共施設の緑化推進

壁面緑化などにより、緑あふれた空間を創出するとともに、民間建築物を先導する緑化に取り組む

★グリーンビル促進事業

マンションのベランダや都心部のオフィスビル等の緑化への助成制度を創設するとともに、容積率緩和制度も活用し、緑化を推進



主な施策の実施状況（令和7年度予算）⑯

炭素吸収施策

★新規★拡充

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度【港湾空港局】

- 博多湾のアマモ場などの藻場による二酸化炭素の吸収・固定を通じて温室効果ガスの削減を目指す
【2024年度実績】販売クレジット数量：37.7トン-CO₂

森林によるカーボンオフセット推進事業【農林水産局】

- 福岡市営林間伐をもとに、森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化したものを売却
【2024年度実績】販売クレジット数量：224トン-CO₂

有機農業推進事業 380万円【農林水産局】

- 農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備として、研修会や有機農産物のPR活動などを実施

※有機農業
化学肥料や農薬を使用しないことで、環境への負荷を低減した農業生産の方法



スマート農業マッチングプロジェクト 334万円【農林水産局】

- 市内農家のニーズとスマート農業企業とのマッチング、新技術の開発にチャレンジする事業者の実証実験を支援

膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO₂施用装置の開発（Carbon Xtract株式会社）

主な施策の実施状況（令和7年度予算）②

温暖化による影響の回避・低減（適応策）

洪水・高潮・内水・土砂災害ハザードマップの提供

自然災害

- 区役所の窓口等におけるハザードマップの提供

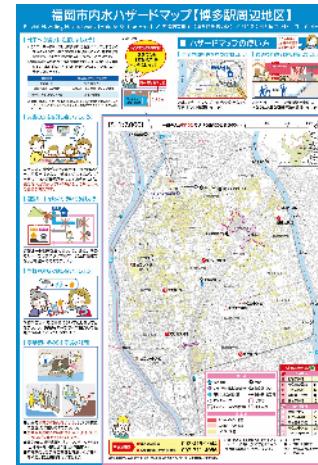
災害時の電力確保

市民生活

- 公民館など指定避難所（170か所）にEVからの電力を供給可能とする設備を整備
- 災害等による停電時には、EV用車や災害時連携協定締結の自動車メーカーのEVを「動く蓄電池」として活用し、避難所における電力確保を図る
- 市清掃工場のバイオマス発電電力での充電による継続性の確保、エネルギーの地産地消を推進



電気自動車から公民館への給電（イメージ）



内水ハザードマップ
(博多駅周辺地区)

浸水対策事業

自然災害

- 「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業
雨水管の整備（中部6号幹線等）
- 「雨水整備Doプラン2026」
雨水管や側溝等の整備（令和7年度末、28地区完了予定）



<施工中>



<完成>

再生水利用下水道事業の推進

水資源

供給区域：1,548ha（令和6年度末時点）

供給箇所数：540箇所（令和6年度末時点）

主な施策の実施状況（令和7年度予算）②

温暖化による影響の回避・低減（適応策）

★新規★拡充

熱中症に関する予防啓発・注意喚起

健康

「福岡市温暖化対策推進会議熱中症対策部会」のもと全庁一丸となって対策を推進。

- ・熱中症予防リーフレットなど啓発物の配布
- ・高齢者見守り活動を行う地域ボランティアに、予防啓発チラシを提供し熱中症予防の声かけ
- ・アビスパ福岡、大塚製薬(株)と共同で啓発動画を作成し、ソラリアビジョン、西鉄電車内モニター等のデジタルサイネージでの動画放映及びSNS等での配信を実施
- ・ホームページやLINE、防災メールを用いて、熱中症警戒アラートの発表状況や暑さ指数の予測情報に基づき、警戒レベルに応じた注意喚起を実施



高齢者向け啓発チラシ



ソラリアビジョンでの啓発動画放映



西鉄電車内モニターでの啓発動画放映



熱中症警戒アラート発表状況のLINEによる配信

主な施策の実施状況（令和7年度予算）②

温暖化による影響の回避・低減（適応策）

★新規★拡充

クールシェアふくおか2025の実施 健康

- 公共施設や民間施設等を涼み処として活用する「クールシェアふくおか」を実施
- 協力可能な施設については、改正気候変動適応法に基づく「クーリングシェルター」に指定し、官民連携して熱中症対策を実施

【実施期間】

令和7年6月20日～令和7年9月30日

【協力施設】

今年度実績：872施設（うちクーリングシェルター310施設）
公共施設：公民館、市民センター、市民体育館、市民プール等
民間施設：ショッピングセンター等の商業施設、薬局等

【施設の広報】

- 福岡市熱中症情報のホームページや福岡市Webまっぷに協力施設を掲載
- 涼み処マップ（紙媒体）を作成し、区役所や市民センター等で配布



協力施設の目印
(ステッカー、のぼり)



福岡市Webまっぷ



涼み処マップ（各区版）

お問い合わせ先

①グリーンボンドについて

福岡市 財政局 財政部 総務資金課

電話 092-711-4592

FAX 092-733-5586

E-mail somushikin.FB@city.fukuoka.lg.jp

②福岡市の地球温暖化対策について

福岡市 環境局 脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課

電話 092-711-4282

FAX 092-733-5592

E-mail datsutanso-shakai.EB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620

福岡市中央区天神1-8-1

HP <http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

トップページ ⇒ 市政全般 ⇒ 予算・決算・市債・寄付等
⇒ 市債のご案内 ⇒ 福岡市債・IR情報 ⇒ 福岡市グリーンボンド